

「 「 「 「
「 「 「
「 「
「

♪ ジョイコン NEWS ♪

第 2 2 号 2017 年 2 月 18 日

早咲きの桜が見頃になっているそうです。
1 月に暖かい日が続いた影響で静岡県河津町では、河津桜が例年より 10 日ほど早く満開になっているそうです。

とはいってもまだまだ寒い日があり、インフルエンザも流行っています。
本格的な春には、もう少しかかりそうです。

それでは、「♪ ジョイコン NEWS ♪」(第 2 2 号) をお届け致します。

【もくじ】

- 【 1 】 次回コンサートのご案内
 - ◆ 第 2 6 回コンサート
- 【 2 】 今後の予定 (先取り情報)
 - ◆ 第 2 7 回コンサート
 - ◆ 第 2 8 回コンサート
- 【 3 】 ヴァイオリンの名器はストラディヴァリウスだけじゃない!
- 【 4 】 コンサートのアンケートから

【 1 】 次回コンサートのご案内

■■ 第 2 6 回コンサート ■■

- ◇ 2017 年 3 月 19 日 (日曜日) 14:00 開演 (13:30 受付開始)
- ◇ 出演: 会田莉凡 (ヴァイオリン) 田中麻紀 (ピアノ)
- ◇ プログラム (予定)
 - ◆ モーツァルト: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ K. 305 イ長調
 - ◆ J. S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンソナタ 第 1 番 BWV1001
 - ◆ ラヴェル: ツィガーヌ
 - ◆ リムスキー=コルサコフ: ロシアの主題による幻想曲
 - ◆ フランク: ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調
- ◇ 料金: 大人・高校生 2,000 円、中学生以下 1,000 円
- ◇ 会場: 大倉山記念館ホール

第 2 6 回ジョイフルコンサートは
『会田莉凡ヴァイオリン・リサイタル〜リボンで結ぶ名曲の花束』と題して、
お届けします。

会田莉凡さんからメッセージが届いています

初めてリサイタルを開催したのは日本音楽コンクールで優勝した半年後、
2013 年の春のこと。それ以来は日本全国で演奏の機会を頂いておりますが、
出身地の東京近郊でのリサイタルは実に 2 年ぶりとなり、また「大倉山ジョイ
フルコンサート」で迎えられることをとても嬉しく思っております。

一番新しく勉強したモーツァルト、8 年ぶりの大曲 J. S. バッハ、高校生の時から
毎年弾いているツィガーヌ、最初に購入した CD にあった秘曲リムスキー=コ
ルサコフ、そしてソナタの中で最も愛するフランク……と思い入れの詰まった
プログラムを、日本音楽コンクールの予選時より素晴らしいピアノで共演して
くださっている田中麻紀先生と弾かせていただきます。
昔から応援してくださる方々に加え、初めて聴いてくださる方々との出会いに
とてもワクワクしながら、当日を迎えたいと思います。

今回のジョイフルコンサートは会田莉凡さんによるヴァイオリンの演奏です。
莉凡さんなんてとても素敵なお名前です。
横浜みなとみらいホールでのジルヴェスターコンサートでは、この若さでおとしから2年連続でコンサートミストレスを務めていらっしゃいました。
どんな演奏を聞かせて下さるのかどうぞお楽しみになさってください。

☆セザール・フランク/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調

○セザール・フランク

セザール・フランクはベルギー出身の作曲家、オルガニストです。父親の強い希望で弟と共に子供の頃から一流の音楽家を目指し、リエージュ王立音楽院を卒業し、その後パリに移住しパリ音楽院に入学します。
しかし5年後フランクはパリ音楽院を自主退学してしまいます。父親の強引で商業主義的なやり方にフランク自身も辟易していたこと、評論家からも父親の存在が影響し、なかなかいい評価が得られなかったこと等の理由が考えられています。
一家でベルギーに戻りますが、ベルギーでの反応も良いものではなく、またパリに戻り、パリ音楽院にも復学し作曲家を志すこととなります。

この頃作曲されたピアノ三重奏曲はリストによって演奏されています。
しかしその後作曲したオラトリオ「ルツ」が全く評価されず、これをきっかけに教師と伴奏者として静かに暮らすことを決意します。

フランクが挙式を行った教会のオルガニストの補佐になり、カヴァイエ＝コル製作のオルガンと出会ったことがフランク自身に大きな影響を与えることとなります。
フランクは3段の手鍵盤と30鍵の足鍵盤を駆使する演奏技術を身に付けます。
更に当時の礼拝はミサや礼拝で歌われる単旋律聖歌の伴奏を行い、それを発展させて聖歌隊の歌唱や神父の説教の間を繋ぐ即興演奏が必要でした。
作曲家を目指していたフランクの即興演奏能力はとて高く評価されました。
同時に作曲の幅も広がっていきます。

サン＝サーンス、フォーレらと共にフランス国民音楽協会の設立に加わり、パリ音楽院のオルガン教授となります。しかし自分の経験を基にした指導やまた生徒からの人気に反感を買い、サン＝サーンスとも対立してしまいます。そのような不遇の時期にフランクは多くの作品を書いています。

○ヴァイオリンとピアノのためのソナタ イ長調

ベルギーのヴァイオリニスト、作曲家、指揮者のウジェーヌ・イザイの結婚祝いとして作曲され、イザイはこの曲を様々な演奏旅行で演奏したそうです。
フランス系のヴァイオリンソナタの最高傑作と言われ、フランクの作品の中で最も人気のある曲です。ピアノ版、フルート版、チェロ版、オーケストラ版としても編曲されています。

最初は表情豊かなピアノの導入からヴァイオリンのロマンチックなメロディーで始まります。途中とても激しいピアノ演奏が展開されます。ピアノは単なる伴奏ではなく、ヴァイオリンと対等な音楽内容を持っていると言われていています。

フランクはとても大きな手を持っていたそうです。そのため和音の幅がとても広くて演奏者泣かせと言えそうです。このソナタの第4楽章のピアノパートに長10度という和音がたくさん使われているそうです。華やかなフィナーレですが、そういう部分にも注目して頂きたいです。(A.N)

■ 予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

◆今回は予約受付開始後まもなく満席となつてしまい、申し訳ありません。
(「キャンセル待ち」は受付中です)

【2】今後の予定(先取り情報)～「予約申し込み」はまだ受付けておりません

■■第27回コンサート■■

◇ 2017年5月21日（日曜日）

◇ 出演：醍醐園佳（ソプラノ）

★東京音楽大学付属高校、東京音楽大学音楽演奏家コースを首席にて卒業。
同大学院修士課程修了。2014年二期会オペラ『チャールダッシュの女王』シル
ヴァ・ヴァレスク役、2015年二期会オペラ『ウィーン気質』フランツィスカ役
にて出演。同年9月 二条城にて小澤征爾指揮による第九ソリストとして出演
CHANEL Pygmalion Days アーティスト。二期会会員

◆ 予約受付開始日：2017年3月20日（月曜日）

■■ 第28回コンサート ■■

◇ 2017年7月16日（日曜日）

◇ 出演：貫川風（ピアノ）

【3】ヴァイオリンの名器はストラディヴァリウスだけじゃない！

ヴァイオリンの名器といえば「ストラディヴァリウス」と「ガアルネリ」の2つが必ずあげられます。どちらも今からおよそ300年位前にイタリア北部のクレモナという小さな町で作られていました。世界の第一線で活躍しているヴァイオリニストはおおむねストラディヴァリウスかガアルネリのどちらかを使用しています。

ストラディヴァリウスはストラディヴァリが製作した名器ですが、ガアルネリは一人の製作者ではなく、一族で製作していたものです。ガアルネリ一族の中で特に優れていたのが二代目のジュゼッペ・ガアルネリで、彼の作った楽器は「ガアルネリ・デル・ジェス（イエスのガアルネリ）」と呼ばれていました。彼の製作した楽器の内部に「IHS」という記号が書いてあるレッテルが貼られていて、「IHS」というのはイエス・キリストを意味するロゴなので、この楽器が「イエスのガアルネリ」と呼ばれるようになったのです。単に「ガアルネリ」と言った場合、この「ガアルネリ・デル・ジェス」を指すことが多いです。現在、ストラディヴァリウスが600挺ほどあるのに対し、ガアルネリは50～60挺（製作されたのは200挺ほど）しか残っていません。

ストラディヴァリとジュゼッペ・ガアルネリはライバルのような状態で楽器を作っていました。この二人は楽器そのものも性格も人生も両極端でした。ストラディヴァリはとても真面目で、朝早くから夜遅くまで楽器を作り、自分が作った楽器は必ず自分で修理するような誠実な人でした。93歳で亡くなる直前まで楽器を作り続けていました。若い頃から素晴らしい楽器を作り、すぐにそれが売れていたのにお金持ちでした。

それに対して、ガアルネリはものすごく破滅的な生き方をしていました。お酒を飲み、暴れまわって、喧嘩をして人を殺して牢屋に入れられてしまったりと、とにかく性格の激しい人で、46歳で亡くなりました。牢屋の中でヴァイオリンを作っていたという話もあります。楽器にも二人の性格は表れていて、ストラディヴァリウスは繊細で、透明感あふれるクリアで甘美な音色をしていて、女性的と言われています。ガアルネリ・デル・ジェスは荒々しく男性的で体力を使う楽器のようです。

「名器」と呼ばれる楽器は、最高レベルの技術と音楽性を持つヴァイオリニストにしか弾きこなせないものですが、ストラディヴァリウスと相性のよいヴァイオリニストとガアルネリ・デル・ジェスを弾いて本領を発揮するヴァイオリニストと2つに分かれるようです。ストラディヴァリウスはジャック・ティボー、サラサーテ、オイストラフ、パールマンなどが使用していました。ガアルネリ・デル・ジェスを好んだのは、パガニーニ、イザイ、クライスラー、ハイフェッツ、アイザック・スターンなどです。

私が調べたところ、日本人のヴァイオリニストでストラディヴァリウスを使用しているのは、諏訪内晶子さん、庄司紗矢香さん、天満敦子さん、漆原啓子さん、千住真理子さん、川久保賜紀さん、五嶋龍さん、南紫音さん、高嶋ちさ子さん、郷古廉

さんなどです。グアルネリ・デル・ジェスを使用しているのは、前橋汀子さん、五嶋みどりさん、堀米ゆず子さん、古澤巖さん、神尾真由子さん、成田達輝さんなどです。他にもいらっしゃれば教えていただきたいです。(のん)

【4】コンサートのアンケートから

★前回のジョイフルコンサート（1月15日公演）：景山梨乃（ハープ）
『奥深きハープの響き～心地よい音につつまれる冬の午後』は如何でしたか？

アンケートの満足度では、「大変良かった」63%、「良かった」31%、残りは「無回答」の6%でした。

自由記入欄（ご感想など）には、
『会場の雰囲気も素晴らしく、とてもきれいな美しいハープの演奏に酔いしれました』、『ハープの生演奏を目前で聴く機会など滅多にないので、本日はとても良かったです。ヒンデミットとても良かったです！』、『この建物の中で、ハープの演奏は、建築、音楽のどちらの鑑賞にも相乗効果をもたらして、すばらしい演出です』など。

一方、『高度な技術は拝見してわかりますが、演奏の曲がむずかしかったです。もう少し聴きやすい曲を』『ハープの楽器のしくみなどもちょっと知りたかったですね』など注文もありました。

また、『景山さん、風邪お大事に♡』『風邪早く治して下さい！！』『景山梨乃さんが国際的なトップ奏者となることを心から祈念しております』と風邪を気遣うメッセージや応援メッセージも寄せられました。アンケート回収数：49（回収率61%）

【編集後記】

ジョイコンのホームページから予約された方から嬉しいメッセージを頂きました。

“参加して3年目に入ります。初めて参加した時、コンサート後に梅林を散歩したことを懐かしく思い出します。今回も楽しみにしています。”

会場の大倉山記念館の裏手には大倉山公園（梅林）があります。約1万平方メートルの敷地内に、32種類約200本の梅が植えられています。毎年2月下旬から3月にかけて満開を迎え、この時期には観梅会も開催されます。天気さえ良ければ、コンサートの前後に散歩をされるのもおすすめです。(お)

※このメールマガジンは、
大倉山ジョイフルコンサートのアンケート等で
「コンサート情報」を希望された方に配信しております。

■演奏会予約申し込み

次回予約申し込みはこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

予約専用電話：080-8424-5108

■バックナンバー

メールマガジンのバックナンバー（PDFファイル）はこちら

ホームページ：<http://www.ohkurayama-joycon.com/>

■配信停止／アドレス変更

メールマガジンの登録、配信停止、アドレス変更はこちら

info@ohkurayama-joycon.com

発行：大倉山ジョイフルコンサート実行委員会

Eメール info@ohkurayama-joycon.com

携帯電話 080-8424-5108

URL <http://www.ohkurayama-joycon.com/>
